① 床スラブ貫通部の実管スリーブは天バを床仕上げ面より５０mm高くし、蓋を設ける。

② 寄り寸法は、箱スリーブは面・丸スリーブは芯で記入する。

③ 梁幅・壁厚を記入する。

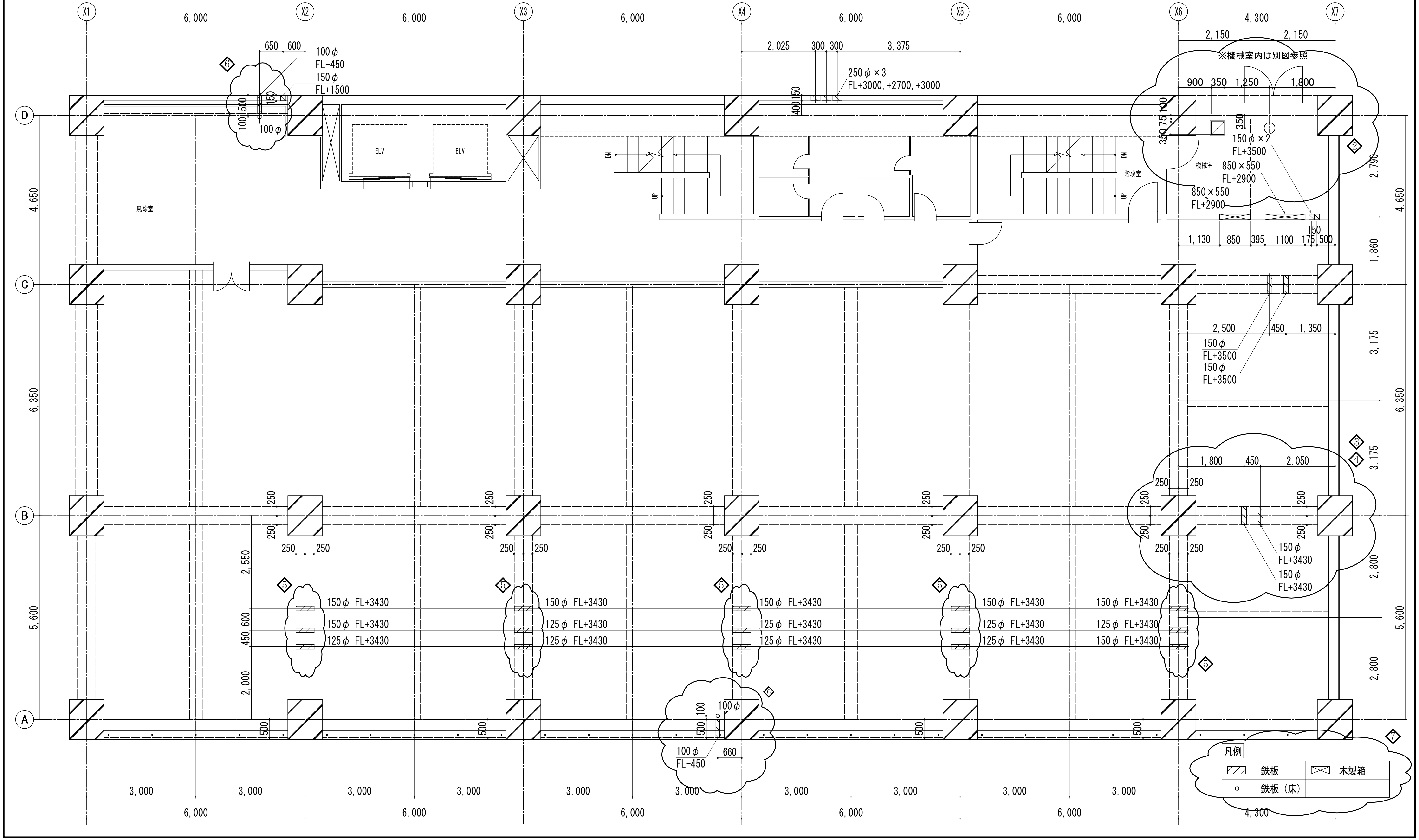
④ 箱スリーブは　W×H、丸スリーブは　φで記入する。
箱スリーブは下端・丸スリーブは芯でＦＬからの高さを記入する。

⑤ 今回の冷温水スリーブサイズは保温外形ぎりぎりのサイズで選定。

⑥ 見下げのスリーブ１階スリーブ図ではなく本来は、
地中梁スリーブ図等の下階の図面に別途で記入する。

⑦ 凡例を作成する。

※　今回は空調だけのスリーブ図であるが、他に衛生・電気等のスリーブが入ってくる。
複合図の場合は設備別のシンボルマークを記入する。


X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
6,000
6,000
6,000
6,000
6,000
4,300
2,150
2,150
650
600
100φ
FL-450
150φ
FL+1500
150
100
500
100
100φ
⑥
2,025
300
300
3,375
250φ×3
FL+3000, +2700, +3000
400
150
※機械室内は別図参照
900
350
1,250
1,800
100
350
75
350
150φ×2
FL+3500
850×550
FL+2900
850×550
FL+2900
機械室
階段室
ELV
ELV
DN
UP
風除室
②
1,130
850
395
1100
175
500
150
D
C
B
A
4,650
6,350
5,600
2,790
1,860
3,175
3,175
2,800
2,800
2,500
450
1,350
150φ
FL+3500
150φ
FL+3500
③
④
1,800
450
2,050
250
250
250
250
150φ
FL+3430
150φ
FL+3430
2,550
600
450
2,000
⑤
150φ FL+3430
150φ FL+3430
125φ FL+3430
125φ FL+3430
150φ FL+3430
100φ
500
100φ
FL-450
660
500
3,000
6,000
4,300
⑦

凡例

▨	鉄板	⊠	木製箱
○	鉄板（床）		

図面名称

１階スリーブ図・検討内容